

2026年度

運営に関する計画



大阪市立横堤中学校

2026年度 運営に関する計画

【学校経営の重点】

◇ 自分を創る ◇

－ 未来を自ら切り拓き、社会とともに生きる力を育む －

【本市の教育における最重要目標】

- (1) 安全・安心な教育の推進
- (2) 未来を切り拓く学力・体力の向上
- (3) 学びを支える教育環境の充実

【本校の教育目標】

- ◇ 自ら考え、自ら学ぶ知性豊かな生徒の育成
- ◇ 自然や人間を愛する情操豊かな生徒の育成
- ◇ たくましい体力と、充実した気力のある生徒の育成
- ◇ 基本的な生活習慣を実践する生徒の育成

《具体的方策》

- ・基礎的・基本的な教育内容の確実な定着と、生徒の活発な意見をもとにした学習活動を充実し、自ら考え、意欲的に解決する力を育む
- ・豊かな体験的活動を通して、個性を尊重し、互いに認めあう集団の育成を図り、思いやる心や感動する心を育む
- ・自らの健康や体力に関心をもち、健康でたくましい心身を養い、自律的な生活習慣や態度を育む
- ・今日的課題に対応する教育を充実させ、自らの判断で、生きるべき道を選択し、決定するとともに、社会の変化に的確に対応できる力を育む
- ・地域・保護者の学校支援体制を構築し、家庭や地域の教育力を活かした教育活動を進めるなかで、地域の伝統行事への積極的な参加とともに、地域の一員である自覚と感謝する心を育む

【めざす生徒像】

- ◇ 自ら課題を見出し、考え、行動できる生徒
- ◇ 失敗を恐れず挑戦し、学び続ける生徒
- ◇ 社会の変化に対応し、主体的に行動する生徒

【めざす学校像】

- ◇ 主体的・対話的で深い学びを通して、生きる力を育てる学校
- ◇ だれもが認められ、安心して挑戦できる学校
- ◇ 地域や社会と連携し、学びを未来へ生かす学校

1 学校運営の中期目標

現状と課題**【現状】**

本校では、年度ごとに全国学力・学習状況調査等、各種調査及び学校評価アンケート(保護者・生徒)における調査結果の分析を踏まえ、横堤中学校「学校教育改善アクションプラン」を策定し、教育活動を進めている。今年度も引き続き**2つの「きょういく」(響育・共育)**をテーマに、「**確かな学力の育成**」・「**自尊感情・自己有用間の向上**」・「**健康で心豊かな心身の育成**」に取り組んでいく。

(2026年度 「横堤中学校 学校教育改善アクションプラン」 参照)

令和6年度チャレンジテストならびに1年チャレンジテストplusにおける**本校平均正答率の対大阪市平均比**は、以下の通りであった。

※()は対大阪府平均比

	国語	社会	数学	理科	英語
3年生	1.11 (1.12)	1.17 (1.18)	1.15 (1.15)	1.07 (1.07)	1.10 (1.13)
2年生	1.01 (1.03)	1.19 (1.21)	1.10 (1.12)	0.98 (1.01)	1.08 (1.09)
1年生	1.04 (1.04)	1.08	0.98 (1.00)	0.82	1.00 (1.02)

平均正答率については、**すべての学年でほぼ大阪府平均を上回っている**。しかしながら、大阪市平均でみると**1年生の理科は、大阪市平均を大きく下回っている**。また、**学力の二極化**が課題となっている。

生徒アンケートの結果を見ると、**家庭でのスマートフォン、タブレットの使用時間が長い**ことが分かった。(1日4時間以上使用…1年40.3% 2年31.9%)

全国体力・運動能力、運動習慣等調査の結果から、**男子の「握力」「反復横とび」の2種目は、全国平均を超えている**が、その他の種目はすべて全国・大阪市平均を下回った。しかしながら、**女子は6種目で全国平均を超えている**。(「50m走」「長座体前屈」は全国・大阪市平均を下回った。)

男女ともに「**走**」の種目に課題が見られた。

【課題】

本校の継続的な課題は、「**不登校生徒の増加**」である。隣接する横堤小学校と「一小一中」の関係にあり、**固定化した人間関係**もあるため、不登校生徒を生み出さないようにする困難さがある。

生徒・保護者との信頼関係を構築し、関係諸機関と連携する等を行い、「子どもの声」を受け取り、早期対応を行っていく。また、**不登校生徒の未然防止**に向けて取り組みを進めていくとともに、**いじめの早期発見、早期対応**についても、組織的に取り組んでいく。

学習面では、授業において**生徒がPC・タブレットを活用する機会が少ない**ため、教職員研修を進めながら指導方法の改善に努めていく必要がある。

体力面では、**学校・家庭・地域と連携**を図り、**生徒が運動やスポーツに関わる機会の提供**に努めていかなければならない。

中期目標

【安全・安心な教育の推進】

- 2029年度末の年度目標アンケートにおける「学校に行くのは楽しいと思いますか」に対して、肯定的に回答する生徒の割合を85%以上にする。
- 2029年度末の校内調査において、不登校生徒の在籍比率を令和6年度～令和9年度内で前年度より減少させる。
- 2029年度末の年度目標アンケートにおける「自分には、よいところがありますか」に対して、肯定的に回答する生徒の割合を88%以上にする。
- 2029年度末の年度目標アンケートにおける「自分の大切さとともに他人の人の大切さを認めることができますか」に対して、肯定的に回答する生徒の割合を90%以上にする。
- ・2029年度末の校内調査における「いじめは、どんな理由があってもいけないことだと思いますか」に対して、最も肯定的な「思う」と回答する生徒の割合を90%以上にする。

【未来を切り拓くための学力・体力の向上】

- 2029年度の中学生チャレンジテストにおける国語および数学の平均点の対府比を、2026年度に対していずれの学年も0.05ポイント向上させる。
- 2029年度の大阪市英語能力調査におけるCEFR A1レベル相当以上の英語力を有する中学3年生の割合（4技能）を65%以上にする。
- 2029年度の校内調査における「学級の生徒との間で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、新たな考え方に気付いたりすることができていますか」に対して、肯定的に回答する生徒の割合を88%以上にする。
- 2029年度末の校内調査における「運動（体を動かす遊びを含む）やスポーツをすることは好きですか」に対して、肯定的に回答する生徒の割合を85%以上にする。

【学びを支える教育環境の充実】

- 2029年度末の年度目標アンケートにおける「学習者用端末を活用して、自分の考えや意見を伝えたり、友達と共有したり比べたりしている」に対して、肯定的に回答する生徒の割合を80%以上にする。
- 教員の時間外勤務時間について、月100時間以上実施する教員をゼロにする。

2 中期目標の達成に向けた年度目標

【安全・安心な教育の推進】

- 年度目標アンケートにおける「学校に行くのは楽しいと思いますか」に対して、肯定的に回答する生徒の割合を83%以上にする。 (前年度 82.7%)
- 年度末の校内調査において、不登校生徒の在籍比率を前年度より減少させる。 (前年度 11.0%)
- 年度目標アンケートにおける「自分には、よいところがあると思いますか」に対して、肯定的に回答する生徒の割合を85%以上にする。 (前年度 84.7%)
- ・年度末の校内調査における、「いじめは、どんな理由があってもいけないことだと思いませんか」に対して、最も肯定的な「そう思う」と回答する生徒の割合を86%以上にする。 (前年度 85.7%)
- ・年度末の校内調査における、「命や人権の大切さについて考えることができている」に対して、肯定的に回答する生徒の割合を80%以上にする。
- ・年度末の校内調査における、「学校の規則や社会のルールを守っている」に対して、肯定的に回答する生徒の割合を85%以上にする。

【未来を切り拓くための学力・体力の向上】

- 中学生チャレンジテストにおける、国語および数学の平均点の対府比を、同一母集団において経年的に比較し、いずれの学年も前年度より0.02ポイント向上させる。
- 大阪市英語力調査における、CEFR A1 レベル相当以上の英語力を有する中学3年生の割合(4技能)を62%以上にする。 (前年度 61.4%)
- 年度目標アンケートにおける「学級の生徒との間で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、新たな考え方に気付いたりすることができていますか」に対して、肯定的に回答する生徒の割合を前年度以上にする。 (前年度 86.7%)
- 年度目標アンケートにおける、「運動(体を動かす遊びを含む)やスポーツをすることは好きですか」に対して、肯定的に回答する生徒の割合を80%以上にする。
- ・全国体力・運動能力、運動習慣調査のすべての種目を大阪市平均以上にする。
- ・年度末の校内調査における、「朝食を毎日食べていますか」に対して肯定的に回答する生徒の割合を93%以上にする。 (前年度 92.9%)

【学びを支える教育環境の充実】

- 年度目標アンケートにおける「学習者用端末を活用して、自分の考えや意見を伝えたり、友だちと共有したり比べたりしていますか」に対して、肯定的に回答する生徒の割合を70%以上にする。
- 時間外勤務時間について、月100時間以上実施する教員をゼロにする。
- ・年度末の校内調査における、「学校はICT機器を活用した教育に取り組んでいる」の項目に対して、肯定的に回答する保護者の割合を70%以上にする。

3 本年度の自己評価結果の総括



評価基準	A：目標を上回って達成した	B：目標どおりに達成した
	C：取り組んだが目標を達成できなかった	D：ほとんど取り組めず目標も達成できなかった

年度目標	達成状況
<p>【安全・安心な教育の推進】</p> <p>○年度目標アンケートにおける「<u>学校に行くのは楽しいと思いますか</u>」に対して、<u>肯定的に回答する生徒の割合を83%以上</u>にする。 (前年度 82.7%)</p> <p>○年度末の校内調査において、<u>不登校生徒の在籍比率を前年度より減少</u>させる。 (前年度 11.0%)</p> <p>○年度目標アンケートにおける「<u>自分には、よいところがあると思いますか</u>」に対して、<u>肯定的に回答する生徒の割合を85%以上</u>にする。 (前年度 84.7%)</p> <p>・年度末の校内調査における、「<u>いじめは、どんな理由があってもいけないことだと思いますか</u>」に対して、<u>最も肯定的な「そう思う」と回答する生徒の割合を86%以上</u>にする。 (前年度 85.7%)</p> <p>・年度末の校内調査における、「<u>命や人権の大切さについて考えることができています</u>」に対して、<u>肯定的に回答する生徒の割合を80%以上</u>にする。</p> <p>・年度末の校内調査における、「<u>学校の規則や社会のルールを守っている</u>」に対して、<u>肯定的に回答する生徒の割合を85%以上</u>にする。</p>	

年度目標の達成に向けた取組内容、取組の進捗状況を測る指標	進捗状況
<p>取組内容①【基本的な方向1 安全・安心な教育環境の実現 生活指導部】</p> <p>・いじめ、不登校生徒へ組織的・計画的に対応する。普段から生徒の様子を観察し、特に気になる生徒に対しては、家庭と連携をとりながら情報を共有し、早期発見・早期対応に努めるとともに、関係諸機関との連携を深める。</p> <hr style="border-top: 1px dashed black;"/> <p>指標</p> <p>・年度末の校内調査における、「<u>いじめは、どんな理由があってもいけないことだと思いますか</u>」（生徒アンケート）に対して、<u>最も肯定的な「そう思う」と回答する生徒の割合を86%以上</u>にする。</p> <p>・年度末の校内調査における、<u>不登校生徒の在籍比率を前年度より減少</u>させる。 (前年度 11.0%)</p>	
<p>取組内容②【基本的な方向1 安全・安心な教育環境の実現 生活指導部】</p> <p>・「心の天気」「相談申告機能」を活用しながら、普段から生徒の悩みや相談等に丁寧に応じる。</p> <p>・学期ごとに教育相談を行い、学校生活や友人関係、部活動等について、生徒の様子を把握し、情報共有を行う。</p> <hr style="border-top: 1px dashed black;"/> <p>指標</p> <p>・年度目標アンケートにおける「<u>学校に行くのは楽しいと思いますか</u>」に対して、<u>肯定的に回答する生徒の割合を83%以上</u>にする。 (前年度 82.7%)</p> <p>・各学級の「<u>心の天気</u>」の<input type="checkbox"/>入力率を<u>80%以上</u>にする。</p>	

<p>取組内容③【基本的な方向1 安全・安心な教育環境の実現 生活指導部】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・鶴見警察署等の外部機関を活用し、スマートフォン、インターネット、SNS等の使用に関する指導を行う。 	
<p>指標</p> <ul style="list-style-type: none"> ・外部機関と連携し、情報モラルに関する指導を1回以上実施する。 	
<p>取組内容④【基本的な方向1 安全・安心な教育環境の実現 健康教育部】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・清掃活動の推進と美化意識を養い、美化委員会活動で啓発する。 ・地域・PTA活動と協力した地域美化活動を継続的に実施する。 ・地震、火災等の発生に備え、計画的に防災・減災教育を実施する。 	
<p>指標</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地域、PTA活動と協力した地域美化活動を、年2回以上実施する。 ・地震、火災等を想定した避難訓練を2回以上実施する。 	
<p>取組内容⑤【基本的な方向2 豊かな心の育成 人権・性教育委員会】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・3年間を見通した計画的な人権教育を推進し、系統的な学びの実践ができるように人権学習の企画・実施を行う。 	
<p>指標</p> <ul style="list-style-type: none"> ・人権・性教育委員会で計画した人権学習を各学年で2回以上実施する。 ・年度末の校内調査における、「命や人権の大切さについて考えることができている」(生徒アンケート)に対して、肯定的に回答する生徒の割合を80%以上にする。 	
<p>取組内容⑥【基本的な方向2 豊かな心の育成 道徳教育推進委員会】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・学校教育活動全体を通じた道徳教育活動を進め、人権教育、特別活動など、様々な体験を通して、生徒同士が互いの違いを認め合い、高め合う教育を実施する。 	
<p>指標</p> <ul style="list-style-type: none"> ・年度末の校内調査における、「道徳の授業を通して、自分の成長を実感できている」(生徒アンケート)に対して、肯定的に回答する生徒の割合を80%以上にする。 	
<p>取組内容⑦【基本的な方向2 豊かな心の育成 教務部】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・3年間を見通した体系的・系統的なキャリア教育を推進する。 ・キャリア教育の目標を明確にするとともに、体験的活動や進路指導等、生徒の発達段階に応じた指導内容を充実させる。 ・地域資源や外部の人材を活用し、多様な人々から学ぶ機会を設ける。 	
<p>指標</p> <ul style="list-style-type: none"> ・各学年で1回以上、キャリア教育を行う。 ・年度末の校内調査における、「キャリア教育を通して、自分の将来について考えることができた」(生徒アンケート)に対して、肯定的に回答する生徒の割合を80%以上にする。 	

年度目標の達成状況や取組の進捗状況の結果と分析

次年度への改善点

評価基準 A：目標を上回って達成した	B：目標どおりに達成した
C：取り組んだが目標を達成できなかった	D：ほとんど取り組めず目標も達成できなかった

年度目標	達成状況
<p>【未来を切り拓くための学力・体力の向上】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○中学生チャレンジテストにおける、国語および数学の平均点の対府比を、同一母集団において経年的に比較し、いずれの学年も前年度より 0.02 ポイント向上させる。 ○大阪市英語力調査における、CEFR A1 レベル相当以上の英語力を有する中学3年生の割合（4技能）を 62%以上にする。（前年度 61.4%） ○年度目標アンケートにおける「学級の生徒との間で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、新たな考え方に気付いたりすることができていますか」に対して、肯定的に回答する生徒の割合を前年度以上にする。（前年度 86.7%） ○年度目標アンケートにおける、「運動（体を動かす遊びを含む）やスポーツをすることは好きですか」に対して、肯定的に回答する生徒の割合を 80%以上にする。 <ul style="list-style-type: none"> ・全国体力・運動能力、運動習慣調査のすべての種目を大阪市平均以上にする。 ・年度末の校内調査における、「朝食を毎日食べていますか」に対して肯定的に回答する生徒の割合を 93%以上にする。 	

年度目標の達成に向けた取組内容、取組の進捗状況を測る指標	進捗状況
<p>取組内容①【基本的な方向4 誰一人取り残さない学力の向上 教務部】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・各教科で「シラバス(年間計画の概要)」を作成し、生徒や保護者に授業計画や評価方法等を示す。 ・シラバスを活用して、学習目標や学習の見通しを持たせ、主体的に学ぶ態度を養う。 <p>-----</p> <p>指標</p> <ul style="list-style-type: none"> ・年度末の校内調査における、「話し合い活動を通して自分の考えを深めたり、新たな考え方に気づいたりすることができる」（生徒アンケート）に対して、肯定的に回答する生徒の割合を 80%以上にする。 ・年度末の校内調査における、「学校は学習の仕方を工夫するなど、授業を改善する工夫をおこなっている」（保護者アンケート）に対して、肯定的に回答する生徒の割合を 80%以上にする。 	
<p>取組内容②【基本的な方向4 誰一人取り残さない学力の向上 教務部】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・生徒の読解力や言語能力を高めるとともに、読書習慣の定着を図るために、「朝の読書活動」に取り組む。 <p>-----</p> <p>指標</p> <ul style="list-style-type: none"> ・全学年で、「朝の読書活動」を週2日以上実施する。 ・図書室の本の一人あたりの貸出総数を 3冊以上にする。 	

<p>取組内容③【基本的な方向4 誰一人取り残さない学力の向上 教務部】</p> <ul style="list-style-type: none"> 授業の予習・復習等に活用できる家庭学習教材を教科ごとに作成し、提供することで、自主学習の習慣を定着させ、自ら学ぶ態度を養い、学力の向上を図る。 <p>指標</p> <ul style="list-style-type: none"> 年度末の校内調査における「1日当たりの家庭学習時間（塾等含む 平日）」（生徒アンケート）に対して、1時間以上学習の割合を70%以上にする。 年度末の校内調査における「1日当たりの家庭学習時間（塾等含む 休日）」（生徒アンケート）に対して、1時間以上学習の割合を70%以上にする。
<p>取組内容④【基本的な方向5 健やかな体の育成 健康教育部】</p> <ul style="list-style-type: none"> 規則正しい生活として、時間の固定（起きる時間・寝る時間）を確立させる。 生徒保健委員会を活性化し、啓発活動に努める。 <p>指標</p> <ul style="list-style-type: none"> 年度末の校内調査における、「自分の健康に気をつけている」（生徒アンケート）に対して、肯定的に回答する生徒の割合を80%以上にする。
<p>取組内容⑤【基本的な方向5 健やかな体の育成 健康教育部】</p> <ul style="list-style-type: none"> 体力テスト、体育的行事（体育大会等）を日頃の体育の授業や部活動での成果を発揮する場としての位置づけ、体育委員を中心とした主体的活動に取り組む。 <p>指標</p> <ul style="list-style-type: none"> 全国体力・運動能力、運動習慣等調査における、3種目を大阪市平均以上にする。 年度目標アンケートにおける、「運動（体を動かす遊びを含む）やスポーツをすることは好きですか」に対して、肯定的に回答する生徒の割合を85%以上にする。
<p>取組内容⑥【基本的な方向5 健やかな体の育成 健康教育部】</p> <ul style="list-style-type: none"> 「保健だより」や「朝ごはんウィーク」「ヘルシーウィーク」の取り組みを実施し、生徒の基本的な生活習慣を確立させる。 <p>指標</p> <ul style="list-style-type: none"> 年度末の校内調査における、「朝食を毎日食べていますか」（生徒アンケート）に対して肯定的に回答する生徒の割合を93%以上にする。

年度目標の達成状況や取組の進捗状況の結果と分析
次年度への改善点

評価基準 A：目標を上回って達成した	B：目標どおりに達成した
C：取り組んだが目標を達成できなかった	D：ほとんど取り組めず目標も達成できなかった

年度目標	達成状況
<p>【学びを支える教育環境の充実】</p> <p>○年度目標アンケートにおける「学習者用端末を活用して、自分の考えや意見を伝えたり、友だちと共有したり比べたりしていますか」に対して、肯定的に回答する生徒の割合を70%以上にする。</p> <p>○時間外勤務時間について、月100時間以上実施する教員をゼロにする。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・年度末の校内調査における、「学校はICT機器を活用した教育に取り組んでいる」の項目に対して、肯定的に回答する保護者の割合を70%以上にする。 	

年度目標の達成に向けた取組内容、取組の進捗状況を測る指標	進捗状況
<p>取組内容①【基本的な方向6 教育DX（デジタルトランスフォーメーション）の推進 教務部】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ICT機器等を活用し、生徒が互いに学び合う協働的な学びや思考力・判断力・表現力を育成する言語活動を充実させる。 ・授業の質を向上させ、「自分で考え判断する力」「自分の考えを豊かに伝える力」「ICT機器を活用する力」を備えた21世紀をたくましく生き抜く生徒を育成する。 <p>指標</p> <ul style="list-style-type: none"> ・年度末の校内調査における、「学校はICT機器を活用した教育に取り組んでいる」（保護者アンケート）に対して、肯定的に回答する保護者の割合を70%以上にする。 ・ICTを活用した授業実践に関する研修会を1回以上実施する。 	
<p>取組内容②【基本的な方向7 人材の確保・育成としなやかな組織づくり 管理職】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・組織的な業務の効率化を図り、教職員がチームとなり学校運営を行うことで、教職員の時間外勤務時間の削減に努める。 <p>指標</p> <ul style="list-style-type: none"> ・時間外勤務時間について、月100時間以上実施する教員をゼロにする。 	
<p>取組内容③【基本的な方向9 家庭・地域等と連携・協働した教育の推進 管理職】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・小中が連携した教育活動を推進する。教員が小学6年生を対象とした部活動体験（小中交流会）を実施する。 ・小中の全教員が集う「小中連携会議」を開催する。9年間を見通した系統立てた教育を進めていくうえの成果や課題を共有し、小中連携をさらに深める。 <p>指標</p> <ul style="list-style-type: none"> ・小中連携担当者会議を、学期に1回以上実施する。 ・全教員が集う「小中連携会議」を1回以上実施する。 ・小中合同の避難訓練を実施する。 ・小中交流会において、小学6年生対象の部活動体験を実施する。 	

<p>取組内容④【基本的な方向9 家庭・地域等と連携・協働した教育の推進 管理職】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・学校ホームページや学年だよりなどを通して、学校の取り組みを保護者・地域へ広く発信していく。 	
<p>指標</p> <ul style="list-style-type: none"> ・年度末の校内調査における、「学校は、教育方針や教育活動を、学校ホームページや学年だより等でわかりやすく伝えている」（保護者アンケート）に対して、<u>肯定的な回答を80%以上</u>にする。 	

<p>年度目標の達成状況や取組の進捗状況の結果と分析</p>
Empty space for analysis
<p>次年度への改善点</p>
Empty space for improvement points

〈資料〉 令和8年度 学校評価アンケート

【生徒アンケート】

- 1 学校に行くのは楽しい
- 2 学校の規則や社会のルールを守っている
- 3 自分から進んであいさつをしている
- 4 自分には、よいところがある
- 5 将来の夢や目標を持っている
- 6 人の役に立つ人間になりたいと思っている
- 7 いじめはどんな理由があっても許せないことだと思う
- 8 困りごとや不安があるときに、先生や学校にいる大人にいつでも相談できる
- 9 自分の大切さとともに他の人の大切さを認めることができている
- 10 命や人権の大切さについて考えることができている
- 11 道徳の授業を通して、自分の成長を実感できている
- 12 キャリア教育を通して、自分の将来について考えることができた
- 13 授業の内容を理解している
- 14 授業で分からないところがあれば、先生や同級生に質問している
- 15 話し合い活動を通して自分の考えを深めたり、新たな考え方に気づいたりすることができる
- 16 読書が好きである
- 17 学習者用端末を活用して自分の考えや意見を伝えたり、友達と共有したり比べたりしている
- 18 運動（体を動かす遊びを含む）やスポーツをすることが好き
- 19 毎朝、朝食を食べている
- 20 自分の健康に気をつけている
- 21 地域のことに興味・関心がある
- 22 1日当たりの家庭学習時間（塾等含む 平日）
- 23 1日当たりの家庭学習時間（塾等含む 休日）
- 24 1日当たりのスマートフォン等の利用時間（平日）
- 25 1日当たりのスマートフォン等の利用時間（休日）

【保護者アンケート】

- 1 学校が進める教育活動に期待が持てる
- 2 学校は生徒一人ひとりのよさを活かす教育活動に取り組んでいる
- 3 学校は基礎・基本の学力の定着を図るなど、学力向上に取り組んでいる
- 4 学校は学習の仕方を工夫するなど、授業を改善する工夫をおこなっている
- 5 学校は自分の大切さとともに、他の人の大切さを認めることができる態度の育成に取り組んでいる
- 6 学校は子どもの能力や努力を適切・公平に評価している
- 7 学校は子どもの相談に親身に取り組んでいる
- 8 学校は社会のルールを守るなど、規範遵守の態度を育てようと努めている
- 9 学校は仲間関係を大切にし、いじめのない学校づくりに取り組んでいる
- 10 学校は生徒の健康管理に取り組んでいる
- 11 学校は生徒の安全確保や安全管理に取り組んでいる
- 12 学校は教育方針や教育活動を、学校ホームページや学年だより等でわかりやすく伝えている

- 13 子どもは学校へ楽しく行っている
- 14 子どもは授業が分かりやすいと言っている
- 15 生徒は中学生らしいあいさつ・言葉づかいができています
- 16 学校は緊急を要する対応や連絡事項について、子どもや保護者に適切に知らせている
- 17 学校は生徒の学習に適した環境を作るよう努めている
- 18 学校は ICT 機器を活用した教育に取り組んでいる
- 19 毎朝、子どもは朝ご飯を食べている
- 20 家庭では携帯電話やスマートフォン等の使い方について、ルールを設けている